

2015-01-14

東北大学 文系 4 学部合同「クワトロセミナー」第 4 回

公共社会学と社会指標

田中重人

(東北大学大学院文学研究科
言語科学専攻日本語教育学専攻分野)



http://tsigeto.info/15z

論文の「周辺」

問題

仮説

データ

結果

議論

課題

論文の「周辺」

問題

仮説

データ

議論

結果

課題

ルール解説の規範性

力変動詞の可能形は「来られる」

→ ×「来れる」

都市的人間関係における儀礼的無関心

毒を食らわば皿まで

批判社会学

公共社会学

個人的研究史 (1993 -)

女性の就業継続 (-2002)

男性の家事時間 (1999 - 2004)

等価世帯所得と離婚給付 (2004 -)

人口政策と生活保持義務 (2013 -)

就業継続率

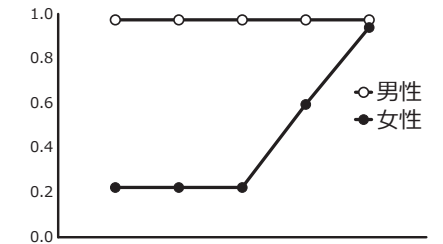
女性：20%

男性：100%

時代による変化なし

(1985, 1995, 2005 年 SSM 調査)

ありそうにない未来

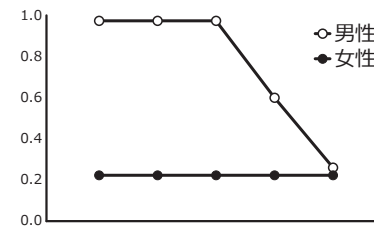


生活時間

女性: 仕事 ↔ 家事の間で調整

男性: 仕事 ↔ 余暇の間で調整

やっぱりありそうにない未来



等価世帯所得

- 男女の差は離別・死別の場合だけ
- 離婚経験者の男女格差は正規継続就業と子供の有無による

→ 離婚給付でカバー

(1999, 2004, 2009 年 全国家族調査 (NFRJ))

➢ 子供に支払うのは政府でもよい

➢ 人口政策としての必要性?

研究テーマの決めかた

好きなテーマを選びなさい

vs.

その研究に何の意義があるの?

因果分析の一般形

$$P(x | \alpha) = f(\beta)$$

x: 状態

α: 地位

無数のテーマ候補

$$P(x | \alpha) = f(\beta)$$

$$P(y | \gamma) = g(\delta)$$

$$P(z | \epsilon) = h(\zeta)$$

.....

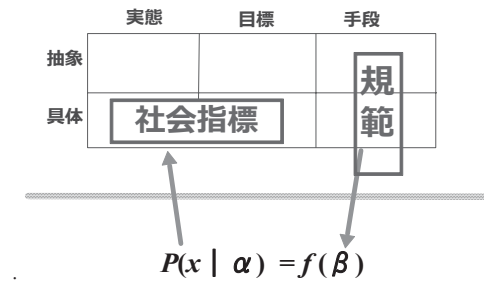
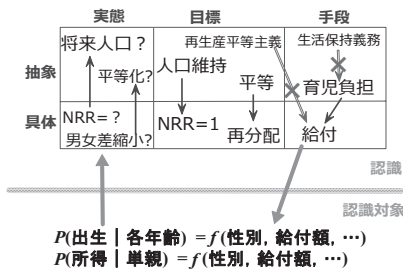
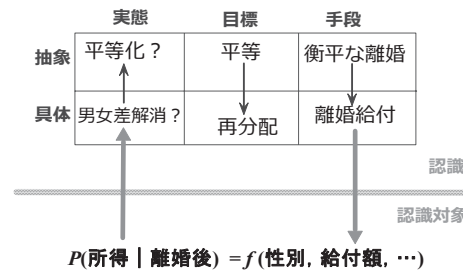
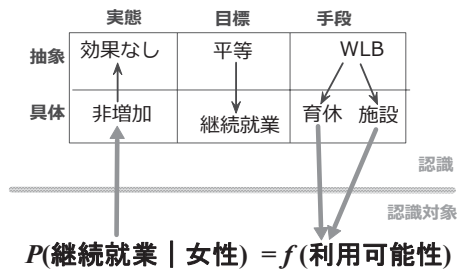
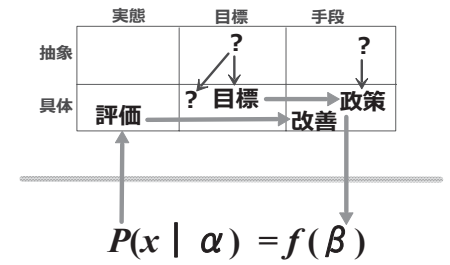
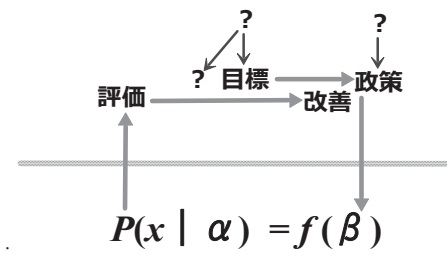
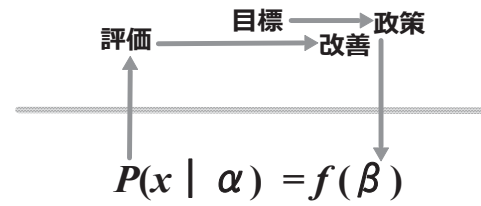
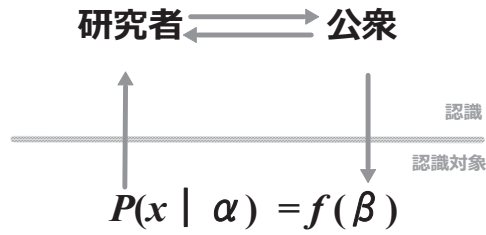
→ どれにする?

研究資源の配分

・ 学界

・ 市場

・ 顧客(?)との対話



- ・ 具体性
- ・ テスト
- ・ 守備範囲の拡大
- ・ 「想定外」を減らす